

新入生合宿研修を終えて

口腔解剖学分野 准教授 大 峽 淳

平成26年4月12日、13日、メイワサンピア新潟にて、毎年恒例の新入生合宿研修が行われました。3年次編入生を含む、新入生73名（歯学科45名、口腔生命福祉科28名）、教員23名、職員2名、学生アシスタント6名の計104名の参加となりました。この合宿は、歯学部での生活のスタートにあたり、教員、職員、クラスの仲間との交流・親睦をはかる事を目的としています。私も新潟大に赴任して間もないため、面識の無い教職員も多数おり、新入生と似た目線での参加となりました。

新入生はバスでメイワサンピアに到着。緊張しているかなと思いきや、意外とリラックスした様子でした。むしろ私の方が、緊張していたかもしれません。まずは、我々教員1人1人の自己紹介に続き、歯学部のカリキュラムや健康管理などに関するガイダンスが行われました。その後、教員を含め参加者全員が、自分のネームプレートを作成。名前よりもニックネームなどを書くようにとの指示があり、我々教員も学生時代のあだ名などを思い出しながら書きました。いつも“～先生”と呼ばれている人の顔とぴったりのあだ名に思わず笑ってしまいました。ここで昼食となります。教員は自分の担当するグループの学生と一緒に、出身地の事やニックネームの由来などを話しながらの昼食となりました。

昼食後は、毎回恒例のコンセンサスゲーム。

「砂漠で遭難したときにどうするか」というタイトルで、渡されたリストに書いてある様々なアイテムの必要度を、先程知り合ったばかりの新入生同士がグループの意見としてまとめていくゲームです。誰も意見を言わず、我々教員の誘導が必要だろうと予想していたのですが、心配ご無用でした。みんなきちんと討論に参加し、仲良く意見をまとめていきました。

つづいて、「面接試験にもの申す！」と題した自己研鑽セミナーが行われました。新潟大学の面接試験の際に印象に残った面接官の質問を列挙し、グループとしてテーマ付けをしていくものです。学生たちが列挙していく印象に残ったとする質問や印象に残った理由に、教員達がざわつく場面も多少ありましたが、我々の質問に対する受験生の感じ方を知る事ができる貴重な経験でした。今後の面接試験にいかされていく事でしょう。

これで、無事初日のメインの行事も終わり、夕食となります。1日同じグループで過ごしましたから、新たな出会いのために、席はくじ引きで決めます。昼食の時と同様に、新入生の中に教職員が座る形で、今日1日の感想などを話しながら夕食スタート。ここで、教職員はアルコール注入です。年齢が20歳に達している学生でアルコールの欲しいものも、飲んでオーケー。ただし、お酒は前田学部長の前にしか無く、欲しい学生は前田学



部長の所に行って、「ビールをください」とお願いするルールです。怖いもの知らず(?)の学生達は、臆する事なく前に行き、前田学部長のお酌でビールを注入。ただ、ほとんどの学生は、我々のように“ビールをプハァー”よりも“コーラをグビッ”がいいようでした。これからの大学生活で酒の旨さを覚えちゃうんだよなどと思いながら、私はビールをもう一杯。夕食途中から、在校生によるクラブ紹介がスタートです。競技可能ギリギリの人数で運営しているクラブが多く、それぞれのユニフォームや必須アイテムを持って、動画などを駆使してのサービス精神たっぷりの勧誘で、我々教職員も楽しめる内容でした。夕食後は、新入生と教職員との懇親会です。前田学部長を中心に、大部屋に集まって、もう熱気ムンムンで、夜遅くまで続けました。

しかし次の日の朝、やはり年齢の差がはっきりと現れます。寝不足なはずの新入生が朝から元気なのに対し、教職員は、すっかりぐったり。それでも我々教職員は最後の力を振り絞って、ガイダンスを開始。ガイダンスの後は、麻酔科スタッフによるマネキンへの心臓マッサージやAEDの使用法などのBLS (Basic Life Support) の講習が行われました。「医療従事者になる者として、倒れている人の前を素通りするわけにはいかない」という言葉に、みんな真剣な面持ちで講習を受けていました。講習終了後、前田学部長の閉幕

の辞により、全てのスケジュールが終わりです。各人の距離が近くなった事を伺わせる和やかな雰囲気、新入生はバスに乗り帰路につきました。

私は、他大学の歯学部出身ですが、私が入学した際も新入生合宿研修はありました。でも、校歌を覚えたり、大学の歴史に触れたり、大学という組織への帰属を促すような雰囲気のものでした。昭和という時代との違い、私立大と国立大の違い、執行部の考え方の違い、色々理由はあるのですが、今回参加した新入生研修は、私が受けたものとは、まったく違っていました。新入生、教職員双方にメリットのあるものと感じました。また役職を持つような教授陣たちが、夜中まで新入生につきあっている姿にも、非常に驚きました。

私は、10数年海外で暮らしていたため、ひさしぶりの日本の若い世代との接触になりましたが、今の若者は、色々しっかり考えていると感じました(特に女子!)。決して、手堅すぎる訳で無く、夢も野心も持っていました。頼もしい限りです。みんなキラキラして、若さっていいなとしみじみ思いながら、重たい体を引きずり私も帰路につきました。

最後になりましたが、新入生の新潟大学での生活が、実り多いものとなりますよう期待しております。

